

第 646 回 例 会

27年9月11日

本日のプログラム

- ・USJ例会
時間 17:30 ~
場所 USJ内レストラン「パークサイド・グリル」

次回(9月18日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 齋藤 清貴 会員
「トップセールス名言10選」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第1回ガバナー補佐訪問 クラブ協議会 13:40~

先週(9月4日)の例会報告

■会長の時間

【四つのテストはこうして生まれた！】

〔出典：ロータリーの心と実践(2015年改訂版)〕

ロータリーの哲学を端的に表現し、職業奉仕の理念の実行に役立つものとして、四つのテストがあります。このテストは、シカゴのロータリアンであり、後にロータリー創始50周年(1954-55)に、国際ロータリー会長を務めたハーバートJ. テイラーが、1932年の世界大恐慌のときに考えたもので、商取引の公正さを測る尺度として、以後、多くのロータリアンに活用されてきました。彼はシカゴに本拠をおくジュエル・ティー株式会社の代表役員でしたが、1932年にクラブ・アルミニウム製品株式会社を破産の危機から救ってほしいと要請され、クラブ・アルミニウム社に移り、この会社を再生させる決心をしたのです。大不況の中で低迷している会社を再生させるには、会社の中に同業者にはない何かを育成しなければなりません。テイラーはその何かに社員の人格と信頼性と奉仕の心を選んだのです。そして、その育成の指針として会社の全従業員が使えるような倫理上の尺度として作られたのが四つのテストです。四つのテストは簡単な言葉ですが、クラブ・アルミニウム社の苦境期の決定を下す基盤となりました。会社の広告も、テストに照らし合わせて検討し、最上、極上などの表現を避け、製品の実際の姿を手短かに述べるかたちになりました。

ライバル会社への非難、悪口は、広告や販売推進パンフレットから姿を消し、やがて、テストは、仕事のあらゆる面における指針となりました。その結果、信頼と好意の雰囲気、取引先や顧客や従業員の中に生まれ、会社の業績が次第に好転していきました。5年後の1937年までに40万ドルの負債は利子とともに完済され、その後の15年間で、会社は株主に対して100万ドル以上の配当を行い、その資産は200万ドル近くになりました。テストによって自分の生き方が変わった、と述べる手紙が数えきれないほどハーバート・テイラーのもとに寄せられたということです。

RI理事会は、1943年に正式に四つのテストを採択し、その著作権は、1954年、ハーバート・テイラーがRI会長の時に、彼からRIに寄付されました。四つのテストは職業奉仕の理念を端的に表すものとして、国際ロータリーにより多くの言語で出版されています。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

27年9月4日(第645回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	1名	28名	5名	84.85%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】

- 1)ロータリーの友(9月号)
- 2)月間地区出席報告(7月分)
- 3)ガバナー月信(9月号)・・・理事、役員に配布
- 4)USJ例会 会場地図

【メール送信】 1)ガバナー補佐訪問・クラブ協議会のご案内(出欠は11日まで) ⇒ 8/31 配信

【回覧資料】 1)出欠表(クラブ協議会・地区大会・大輪ゴルフ会)

ニコニコ箱(9月4日)

東 健三 =秋です。秋の季節が到来しました。さわやかな風が吹き始めました。芸術の秋、そして恋の秋。皆様方も多方面

でのご活躍を祈っております。

橋本 勉 =9月になりました。8月は出張に追われ欠席が多かった分、9月は頑張ってお席したいと思えます。

川上 大雄 =弘前城、動くなんてビックリですね。

小林 知義 =今日は理事会があります。それが終わると地区の行事があつて、最後はダンスのレッスン。楽しみです。

森本 良嗣 =今日は防災の日だったんですね。駐車場でお客様と雑談していましたが、同時にメールのチャイムが鳴りました。

何これ、防災訓練に参加した事ですかね。

大屋 準一 =9月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます。池山さん、久しぶりの卓話、楽しみにしています。

齋藤 清貴 =今日は訓練メール知らなかったのでビックリしました。池山さん、卓話楽しみにしています。

和氣 勝海 =残暑もやわらいできつつあります。我家では虫の音がうるさくなりました。池山さん、卓話楽しみにしています。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 8000円	今年度合計 4102734円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(9月4日)

「あらためて自己紹介 (最近の仕事を中心に)」 池山 博文 会員

大変ご無沙汰です。4年ぶりの卓話になってしまいました。京都に赴任して早くも5年目となり、その間なかなか例会に出席できずご迷惑をおかけしましたが、新しい会員も増えていきますので来年度の会長就任を控えてあらためて自己紹介させていただきます。

●クラブの現状

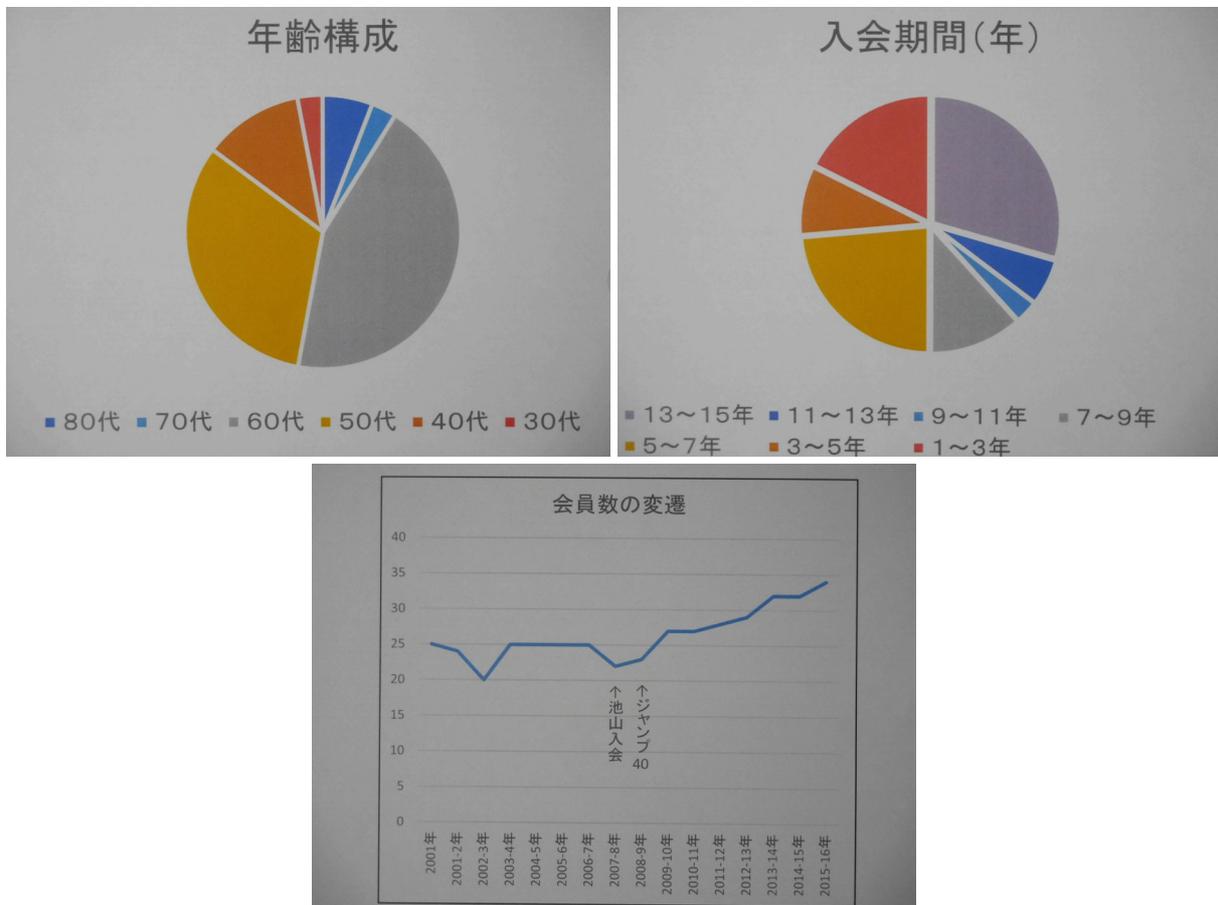
下記のグラフを参照ください。当クラブは2001年にチャーターメンバー25名でスタートしました。私が入会した2007年までは会員数も一進一退でしたが、2008年に「ジャンプ40」委員会が発足し会員増強に力を入れてから順調に会員数を増やし、現在は34名となっています。年齢構成も若く、入会期間も7年未満が半数と、大変若さあふれるクラブとなっています。

●クラブ活動

2007年12月に前任の垣内に代わって入会しました、当クラブでは珍しいサラリーマン会員です。当然3年ほどで後任に譲るはずだったのですが、事情があって後任が来ず残ることとなりました。すぐいなくなるだろうとの思いからか、2年目に副幹事、3年目に幹事と何もわからないまま重要な役割を任せられ、苦労しましたが今思えば良い経験でした。特に故柴田会長の時に幹事をさせていただいたのは今でも良い思い出となっています。

●企業活動

大阪ガスの関係会社である「京都リサーチパーク」で定年を迎え、その後縁あって京都の産業振興を支援するふたつの団体「京都産業育成コンソーシアム」と「京都産学公連携機構」のお手伝いをしています。前者は中小・ベンチャーを中心とする産業振興施策のオール京都の調整機関で、産業用エネルギー戦略や京都版「イノベーション・エコシステム」等について、オール京都でどうしていくべきか議論しています。後者は産学連携によって中小・ベンチャーと大学での研究開発プロジェクトを創出し、京都を「イノベーションの都」にするための仕組み作りを行う事業実施機関です。ボランティアのようなものですがあと少しこの仕事をしているので、皆様のお役に立てることがありましたら何なりとお申しつけください。



4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか